

2018/11 Vol.13

水戸赤十字病院広報誌

〒310-0011 茨城県水戸市三の丸3-12-48  
TEL.029-221-5177(代表) <http://www.mito.jrc.or.jp>

ご自由にお持ちください **Take Free!**

# 虹

にじ

虹の由来/架け橋となるような広報誌を目指します。



## 平成30年7月豪雨災害における こころのケア調整係としての活動

平成30年7月豪雨災害救護活動

人間を救うのは、人間だ。  
Our world. Your move.



**日本赤十字社** 水戸赤十字病院  
Japanese Red Cross Society

診療科紹介Vol.13 **救急科**

寄り道コラム ~file 5~

**家族で考えよう!! 身近な災害対策**

地域医療連携課

平成30年度地域医療連携懇親会を開催しました

# 平成30年7月豪雨災害における こころのケア調整係としての活動

外来 看護係長 金成尚子

2018年(平成30年)6月28日から7月8日にかけて発生した平成30年7月豪雨災害に対し、日本赤十字社は7月17日から広島県呉市において『こころのケア』の活動を開始していました。私は看護師長と主事の3名で7月21日から26日までの6日間、日本赤十字社広島県支部でこころのケア調整係として活動してきました。私たちのミッションは被災者と支援者のニーズ調査、こころのケア班の活動を効果的かつ安定的に行うことができるような土台づくり、こころのケア活動の周知、各関係機関と顔の見える関係づくりでした。

当初はどの機関と連絡調整したらよいのか分からず手探り状態でしたが、まず広島県庁のクラスターミーティング(各支援機関の役割を集団ごとに明確にし、説明責任と透明性を高めてより効果的な支援を目指す会議)に参加して情報収集を行いました。他にもDPAT(災害派遣精神医療チーム)との情報交換や呉市保健センターのミーティングに参加し、DHEAT(災害時健康危機管理支援チーム)や地元保健師と情報交換、連絡調整を行いました。調整内容としては、派遣される日本赤十字社こころのケア班(以下、ケア班)が訪問する避難所や訪問時間の調整、個別で対応が必要な被災者や行政職員等に対する支援(支援者支援)の情報を集め、ケア班が介入できるよう巡回ルートを決めていきました。また、被災地の小学校では災害発生後そのまま夏休みに入っていたため、担任教師による家庭訪問が予定されていました。ケア班の臨床心理士に被災した子どもたちへの接し方についての講義依頼があり、関係機関とケア班の調整を行い、講義を実施することができました。

活動拠点の広島市から被災地まで通常約50分で到着する場所へも、JRが不通で高速道路の閉鎖や災害に伴う通行止めが多く、1時間30分程度かかるという情報でした。そのため、8時30分から行われる呉市保健センターのミーティングに間に合うように6時に広島市を出発しました。しかし、通勤や被災地に向かう災害関係・ボランティアの車両等で大渋滞となっており、朝夕の混雑時間帯は約2時間30分かかってしまう状況でした。長時間移動の車内では、他機関と電話での連絡調整のほかに、膝の上にパソコンを開いて情報整理とパソコンへの入力、今後の活動計画の検討と資料作成等を行う

など手元にある情報で対応しなければならず苦労しました。そのため、移動時間を短縮するためにも、活動拠点を被災地に移すことができるのか、または移動方法として海路利用(広島港⇄呉港)が可能なのか検討を行い、後続班へ引き継いできました。

広島県での日本赤十字社こころのケア活動期間は46日間でしたが、ケア班は11ヶ所の避難所を巡回し、多くの被災者・支援者支援を行いました。ケア班が対応した内容は、不眠、憂鬱な感情やイライラの表出、自宅を失った被災者は住まいに関する不安でした。

今回の支援で被災者支援はもちろんですが、被災地を支援している方へもこころのケアをすることで、さらに被災者への支援にもつながっていくと感じました。今までの救護活動等では調整役で活動したことがなかったのですが、ケア班が活動できるようにするために、調整係として各関係機関と顔の見える関係づくりや目に見えない細かな連絡調整、班員へのフォローが重要であると感じました。



当院こころのケア調整班。左から落合主事、金成係長、林師長

# 救急科 Emergency department



救急科部長  
鈴木 俊繁

## 傷病者を一刻も早く病院へ収容し、適切な初期治療を開始すること

平成29年4月から水戸赤十字病院に救急科が新設されました。現在、四名体制で近隣の救急隊の協力のもとに救急患者さんの治療に従事しております。

私たちは「傷病者を一刻も早く病院へ収容し適切な初期治療を開始すること」をモットーに地域の救急医療に貢献してまいります。

近隣の水戸済生会総合病院と国立病院機構水戸医療センターおよび茨城県立中央病院には救命救急センターがあり、対応ができない患者さんの治療を相互にお願いできる協力体制をとっております。また、当院はヘリポートを備えておりますので、ドクターヘリからの患者収容要請に応じることが可能です。

水戸市を中心とする県央地区の医療事情は、比較的病院数が多く、いつでも質の高い医療を受けられる幸せな状況にあります。私たちは病院の少ない茨城県北部、鹿行地区などの医療について考える必要があります。そのためにも台数に限りのある

救急車の安易な利用を慎み、地域の救急医療の質の向上にお力をお貸しくださいますようお願い申し上げます。救急車を呼ばなければいけない患者さんの状況について、いくつか例を挙げます。

- 呼びかけても反応がない(意識がない)
- 何度も吐いている(吐血している/下血している)
- 激しい痛みを訴える
- けいれんしている
- 息ができない

以上のような場合には119番に連絡し、救急隊の指示に従ってください。

また、夜間などに受診できる医療機関は「救急医療情報コントロールセンター029-241-4199(24時間対応)」で案内してくれますのでご活用ください。

### file.5

## 寄り道コラム

当院では、主に外来患者のみなさまに向けた疾病予防・健康増進の情報提供の場として、「寄り道講座」を月2回程度実施しています。当コラムではその内容についてご紹介します。

## 家族で考えよう!! 身近な災害対策 社会課 主事 永山 博之

日本は、近年、全国的に地震や水害等、災害が頻発しています。平素から、私たち、一人一人が防災について考えていくことが大切です。災害時の対策について、一度、ご家族と話し合われてはどうでしょうか。

### ①地震が起きたら速やかに身を守る行動をとろう。

自宅や職場等で地震が発生した場合、速やかに机の下など、落下物等から身を守る場所に避難してください。

### ②災害時の避難経路について考えよう。

災害発生時、一時的に避難するための避難所が開設されます。自分の地域の避難所が、どこにあるのかを、平時から確認しておきましょう。また、避難所までの経路は複数想定しておきましょう。水害等の発生する可能性のある地域を表したハザードマップ等がある市町村もあるので避難経路の参考にしましょう。

### ③非常時持ち出し物品について考えよう。

避難所に持っていく物品を、持ち運びしやすいようにリュック等にまとめ、家族全員が分かる場所に置いておきましょう。具体的な中身は【図1】の「非常時持ち出し物品リスト」を参考にしてください。

### ④非常時の連絡について考えよう。

緊急時の集合場所等を家族の間で決めておきましょう。また、【図2】のように災害用伝言ダイヤルを利用し連絡をとり合うこともできます。

#### 【図1】 非常時持ち出し物リスト

- 応急医薬品 ..... 救急医薬品、常備薬の予備等
- 非常食 ..... 飲料水(1人1日3ℓとして)3日分、乾パンや缶詰など火を通さなくても食べられる食料3日分
- 情報機器類 ..... 携帯ラジオ、携帯電話、充電器、予備電池等
- 照明器具 ..... 懐中電灯、予備電池、ろうそく、ライター等
- 日用品 ..... 洗面用具、衣類、タオル等
- 貴重品 ..... 現金、印鑑、権利証、預金通帳等

#### 【図2】 災害用伝言ダイヤル

- 171伝言を録音する場合**  
1〇〇〇〇-□□□□-□□□□  
伝言を吹き込む(自宅の電話番号)
- 171伝言を再生する場合**  
2〇〇〇〇-□□□□-□□□□  
伝言を聞く(自宅の電話番号)

# 地 域 医 療 連 携 課

## 平成30年度地域医療連携懇親会を開催しました

平成30年7月12日(木)ホテルテラス ザ ガーデン水戸にて、「平成30年度地域医療連携懇親会」を開催しました。

第一部の講演では、当院の形成外科 馬本部長が「乳児血管腫(いちご状血管腫)の新しい薬物療法」をテーマに講演を行い、続けて第三消化器外科 清水部長が「胃がんにおけるロボット手術の現状」をテーマに講演を行いました。実際に治療を行った患者の経過画像や、ロボットを使用した手術動画などを使って説明し、参加された先生方も真剣に耳を傾けている様子でした。

第二部の懇親会では、当院の満川院長の挨拶の後、水戸市医師会 原会長よりご挨拶をいただきました。

続けて、来賓にてご参加いただいた、常陸太田市医師会 小林会長、那珂医師会 小野瀬会長、県央医師会 會澤会長を紹介後、青木医院 青木院長による乾杯のご発声をいただきました。

また、今年も今後の幅広い医療連携の推進を目指すため、水戸市歯科医師会の大澤会長、茨城県柔道整復師会の竹藤



会長にご出席をいただきました。今回は、191名の皆様にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。

この席でいただいたご意見等を活かし、今後、より一層の親密な医療連携を図ってまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

### ■ 就任のお知らせ 【平成30年10月1日付】

整形外科	市原 琢己(いちはら たくみ)
産婦人科	竹中 慎(たけなか しん) 廣瀬 佑輔(ひろせ ゆうすけ)

上記の職員が新たに就任しました。よろしくお願いいたします。

### ■ 退職のお知らせ 【平成30年9月30日付】

整形外科	山路 晃啓
形成外科	江藤 綾乃
産婦人科	杉山 将樹 武田 豊明

上記の職員が退職いたしました。大変お世話になりました。

## 紹介状持参のお願い

**初診**の方は紹介状(診療情報提供書)の持参をお願いします。



次の場合は、「**紹介状**」が必要となります。

- ・当院を初めて受診される場合
- ・当院での治療が終了し、再び来院され受診される場合
- ・患者さまが任意に診療を中止し、改めて受診される場合

お持ちでない方は

**選定療養費5,400円(税込)**が必要となります。

皆さまの、ご理解とご協力をお願いいたします。 病院長

紹介状(診療情報提供書)  
**検診結果表**をお持ちの方は



**3番 紹介窓口**  
にご提出ください。

ご予約の方も、紹介状、  
検診結果表をお持ちの方は、  
「3番 紹介窓口」にご提出ください。  
病院長

## 12月1日~25日は「NHK海外たすけあい」キャンペーン



日本赤十字社は毎年12月1日~25日に、NHKと共催で募金キャンペーン「NHK海外たすけあい」を実施しています。お寄せいただいた寄付は、世界中の紛争、災害、病気で苦しむ人々の支援に役立てられます。

募金のご協力をお願いします。

もっと情報を知りたい方は  
キャンペーン特設サイトをチェック↓

赤十字 海外たすけあい

検索

